

救急科・集中治療部

専門研修プログラム



千葉大学医学部附属病院 救急科・集中治療部 専門研修プログラム

千葉の最前線かつ最後の砦として

当院は千葉市の救急医療の中核を担う病院で、豊富な救急症例を最前線で経験できます。また、集中治療室としての機能はトップクラスで、最重症患者の県内の最後の砦として、ヘリコプターを用いて搬送するなどして患者の受け入れを行っています。ECMOを含めた多くの人工臓器症例を経験できます。

多様なSubspecialty

スタッフのSubspecialtyは外科・IVR・小児科・内科・麻酔科など多岐に渡ります。院内専門科とも連携し、救命に必要な知識・手技を学べます。

Academic Critical Care

当科では臨床で生まれた疑問を基に臨床・基礎研究を行い、その結果を臨床に反映させています。研究を実践し・発信する手法を学ぶことができます。



豊富な連携施設

県内5つの救命センターを含めた8病院と連携しており、ドクターヘリなどのプレホスピタルやER型救急などの幅広い研修が可能です。

研修連携施設(下線は救命救急センター)

君津中央病院, 成田赤十字病院, 千葉市立青葉病院, 東千葉メディカルセンター, 東京ベイ浦安市川医療センター, 千葉県救急医療センター, 旭中央病院, 東京女子医科大学八千代医療センター, 日本医科大学千葉北総病院, 東京都立多摩総合医療センター, 千葉市立海浜病院, 浦添総合病院, 済生会横浜市東部病院救命救急センター



君津中央病院



成田赤十字病院

■ 研修プログラムの実例

例1

1年目

千葉大学病院

大学病院でCritical Careの基本的知識や技能を学ぶ

2年目

連携施設A

特色のある各救命センターやER型救急外来を経験しCritical Careの応用的知識や技能を学ぶ

3年目

連携施設B

異なる救命センターでさらに経験を積みながらSubspecialty・災害プレホスピタルの研修を行う

例2

1年目

連携施設A

特色のある各救命センターやER型救急外来を経験しCritical Careの基礎的知識や技能を学ぶ

2年目

連携施設B

異なる救命センターでさらに経験を積みながらSubspecialty・災害プレホスピタルの研修を行う

3年目

千葉大学病院(大学院など)

大学病院でCritical Careの応用的知識や技能を学び臨床研究・基礎研究にも従事

*個人の希望や家庭環境に応じて柔軟にプログラムを組むことが可能です

ワークライフバランス

2020年度千葉大学所属の女性医師は4名と多く、誰にとっても楽しく・働きやすい職場環境の構築をしています。本人のライフスタイルに合わせた勤務が可能です。



千葉大学病院 総合医療教育研修センターHP
<https://www.ho.chiba-u.ac.jp/chibauniv-resident/>

千葉大学病院 見学のお申込み
<https://www.ho.chiba-u.ac.jp/chibauniv-resident/visit/index.html>

プログラム責任者: 安部 隆三
連絡担当者: 柄澤 智史
TEL: 043-226-2372 (直通)
お問い合わせ: chibadaieccm-office@umin.ac.jp

お気軽に
お問合せ
ください!